

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) テイカ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町4丁目11番6号	
本票作成	部署名：岡山工場 原動課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	無機粉体及びその加工品の製造を行う工場が県内3ヶ所に持ち、県内事業所の合計従業員数300名、売上高230億円。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山市東区西幸西1072	
	②	熊山工場		赤磐市小瀬木50-1	
	③	熊山工場長船分工場		瀬戸内市長船町長船1239-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和5)年度排出量		目標年度(令和6年度)	
	192,755 t CO ₂		160,797 t CO ₂		189,384 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和5)年度排出量	
	①	岡山工場		155,196 t CO ₂	
	②	熊山工場		4,370 t CO ₂	
	③	熊山工場長船分工場		1,231 t CO ₂	
				t CO ₂	
			t CO ₂		
			t CO ₂		
削減目標の達成状況	計画期間： 令和2年度 ～ 令和6年度 (5箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績		目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△5.5 %		2.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 酸化チタン・微粒子酸化チタン・チタンマカ・酸化亜鉛・表面処理製品・表面処理製品の加工品	原単位当たり排出量			
		基準年度	(5)年度	目標年度	
		3.880	4.093	3.802	
		t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標		関連数値(令和5年度)	達成率等
【削減状況の自己評価】					
・令和5年度の前年度当たりの炭酸ガス排出量は基準年度と比較し目標未達となった。本年度も需要が戻らず、生産量は基準年度より少なく推移し、効率のよい生産活動ができなかった。					

【推進体制】

○日本政府の方針に則り、全社で炭酸ガスの排出量削減に取り組む。目標は以下の通り。
 →2030年目標 炭酸ガス排出量50%削減 (対2013年度比)
 →2050年目標 カーボンニュートラル
 ・月例の部会において、エネルギーの使用状況や原単の確認、省エネルギー活動の報告・議論を実施。
 ・ISO14001に基づき、環境改善を推進。
 ・省エネパトロールを実施することで、エネルギーの無駄を洗い出し・改善を行い、省エネ意識の高揚を図っている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(令和5年度実施分) 岡山工場 岡山工場・熊山工場・長船分工場 岡山工場	(令和5年度実施分) スチームコンプレッサー導入による蒸気使用量削減(炭酸ガス換算：210t/y) 照明のLED化 (炭酸ガス換算：105t/y) 反応タンク加熱蒸気削減 (炭酸ガス換算：650t/y)
(今後実施予定分) 岡山工場 岡山工場 岡山工場	(今後実施予定分) ボイラー更新・燃料転換(石炭→LNG) (炭酸ガス換算：5,300t/y) ロータリードライヤーフラッシュ蒸気回収 (炭酸ガス換算：530t/y) 機能性製品工場ドレン回収 (炭酸ガス換算：180t/y)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	熊山工場にて太陽光発電システムを導入。購買電力量の削減に寄与。
その他	無	

【その他特記事項】

--